

マンダム

通期業績予想を下方修正、3Qも回復見通せず

マンダムの2021年3月期第3四半期決算は、コロナ禍の影響で国内に加え、成長エリアであるアジア市場が苦戦して減収減益となった。売上高が前年同期比23・6%減の479億3700万円、営業利益は販管費の削減に取り組んだものの、減収をカバーできず85・9%減の8億1300万円、経常利益が79・9%減の12億8800万円、四半期純利益が43・4%減の23億1600万円で減収減益だった。

エリア別では、日本は（前年同期は5億3700万円・女性事業とも減収0万円の利益、海外そので、売上高が16・6%減）他エリアは中国、台湾、の298億1000万円、韓国で2Qから回復の動きがみられたものの、コロナ禍の影響で各国の営業活動が大幅に制限された。海外は、インドネシアが売上高で35・1%減の88億700万円、営業利益が84・1%減の3億2600万円、業損失で9億2600万円

ストレス発散の方法は人それぞれだ。飲み会であったり、ランニングであったりするだろう。私は、カラオケに行って歌を歌うことができない状況だ。

カラオケは手軽に楽しむことができる。実際、歌うと唾液が増加し、心身がストレスを感じると分泌されるホ

私のH & B日記

市場は、コロナ禍による客足の急減を背景に縮小した。休業や時短営業を余儀なくされたことで稼働率が低迷し、各社で売上が減少したためだ。

業界全体として感染対策を徹底しているの

月期通期業績予想（前回発表20年10月29日）を下方修正した。コロナ禍の長期化により国内外の化粧品需要の回復が鈍く、エリヤ別で売上構成比約6割を占める日本は21年

修正後の通期連結業績予想は、売上高が前回公表比13億減の627億円（前期比23・3%減）、営業損失が同4億円増の12億円（前期は営業利益59億7000万円）、経

バルクオム

アメリカに進出

3月からはバラエティでの販売も予定

メンズスキンケアブランド「BULK HOME（バルクオム）」は、2月15日よりアメリカでのEC販売を開始した。また3月をめどに全米で展開する「Tokyo Central」ガーデン店などバラエティショップ約20店舗での販売も予定している。

アメリカの調査会社「Research and Markets」は、2024年には約8兆7000億円を形成している。

近年、アメリカ国内ではスキンケアを身だしなみの1つとして捉え、生活の一部に取り入れ始める男性が増えていることから、インターナショナルブランドがひしめき、激しい競争が行われている。また、ビューティという市場に限らず、近親者からの口コミへの信頼度が高い市場という特徴もある。

バルクオムは、2013年のブランドデビューより「メンズスキンケアブランド世界シェアNo.1」を目指している。

カラオケ店で新たな提案

を見せられているという。また、まねきねこでは被せるタイプのマイクカバーを配布することで稼働率が低迷し、各社で売上が減少したためだ。

業界全体として感染対策を徹底しているの



中長期的にはアメリカに住むすべての男性に向けてマーケティング活動を実施し、さらなるブランド認知度、フレアレンスの拡大を目指す。最終的にはサブスクリプションビジネスの導入を検討していく。